

大阪市を残し 財源活かして よりよい街に



「ふ」を「と」に変えるのは将棋だけに

桂 文福さん 上方落語協会理事・落語家

私は、和歌山出身、奈良県の生駒在住なので投票権はおまへんが、繁昌亭など大阪で働かせてもらい、ミナミやキタの浪花の人情、商都、笑都ええ街でっせ。

「ふ」を「と」に変えるのは「将棋」だけにしなはれ!!



大阪市は市民の宝

小西 禎一さん 元大阪府副知事

大阪市は130年市民の生活を守り、大阪の文化を育みながら市民とともに歩んできました。

大阪市は市民の大事な宝です。なくしてはいけません。東京の真似しても東京にはなりません。市民の貴重な権限、財源、公園・水道などの財産を失い、負担はそのまま。こんな馬鹿げた話はありません。大阪市の力と区域を4つに分割することはコロナ対策や防災対策を難しくするだけです。政令指定都市の権限、財源を市民のために活かしましょう！



連携協力のルールをつくれればいい

中西 正人さん 元大阪府教育長

特別区制度は大阪にはなじみません。東京とは基本的条件がまったく違いますし、特別区は固定資産税などの税を徴収することもできません。

二重行政の解消と言うなら、施設建設のルールづくりなど連携協力の仕組みをつくれればいいことで、大阪市をなくしてしまうというのは市町村の権限を強める地方自治の流れとも逆行します。

今、コロナ禍での大阪市の廃止はとんでもない話で、いったんつぶして戻せる話ではありません。



国に先駆けてきた歴史をつぶさんとして

平松 邦夫さん 第18代大阪市長

単にノスタルジーで残せとは言っていないのです。130年を越える歴史をみれば、住み、暮らす人を守るために、健康や環境問題を国に先駆け、引っ張ってきた都市の歴史があります。そこには多くの市民の積極的な関わりがあり、「おせっかい」な気質と相まって、絶妙なバランスがありました。大阪市の消滅させることが一丁目一番地という人たちにこの町を潰させたくありません。「ようわからんなあ」という人には「大阪市」を残してから問題点を考えようと伝えたいですね。



市民の生活を守るために

宮本 亜紀さん 弁護士

大阪市を無くして、政令指定都市から特別区に「格下げ」は、絶対反対です。道路や公園や再開発の都市計画、消防、水道などは大阪府に権限が移ると、住民の要望が届かなくなります。私が弁護士として関わった一人親家庭や高齢者、中小企業経営者などは、経済的に厳しい方が多く、大阪市独自の住民サービスや経済対策ができなくなれば、ますます困難になるでしょう。大阪市民の生活を守り、今後より良くするためにも、「大阪市」を守りたいです。



みんなの力で大阪市をよみがえらせよう

山中 智子さん 日本共産党大阪市議

コロナ禍という悪環境のもと、多くの市民の方が「大阪市をなくしていいのか」を真剣に考えておられることをひしひしと感じます。大阪市廃止がどれだけの不幸を住民にもたらすのかを伝えぬき必ず勝利を。そして、なくさずに残した大阪市の、二度とムダ遣いをせず、税金は市民の命・くらし・営業最優先に使うとともに、地域の問題については住民の声を取り入れる「住民自治」豊かな大阪市の、みんなの力でよみがえらせましょう。



わざわざ型体をかえなくても

わかぎ 晃ふさん 劇作家・演出家・エッセイスト

都構想が前向きな改革だ！と言うのなら、わざわざ型体を変えなくても、今の体制で改革できるようにする事が政(まつりごと)じゃないでしょうか。

初めて勤めた会社の上司が「ダメな上ほど席替えさせたり、営業時間変えたり、すぐに形を変えたがる。やったった感が出るんやろなあ」と言っていたのを思い出しました。

大阪人に愛着のある住所を変えさせ、新しい名刺を作らせ、余計な税金を使う必要性を感じないので、私は反対させていただきます。

